

Drowsy Alarmについて

“Drowsy Alarm”は運転中の居眠りを防止し、安全性を高めるアプリです。スマートフォンのフロントカメラを使い、コンピュータビジョンの技術に基づいて運転中のドライバーの顔と目を検出します。ドライバーがうとうととして目を一定時間閉じると、アラーム音が鳴るという仕組みです。スマートフォンをダッシュボードなど運転席付近に設置し、アプリを立ち上げるだけでサービスの利用が可能で、特に追加のハードウェアを購入する必要はありません。交通安全を推進する米国の非営利団体AAA Foundation for Traffic Safetyによれば、居眠り運転に起因する事故は米国内で年間32.8万件発生しており、そのうち6千件は致命傷に至ると言われています。加えて、ドライバーを務める人のアマチュア化と一人あたり運転時間の増加により、交通事故の発生件数は今後増加していくと指摘されています。しかしながら、多くの車では高価な最先端の安全技術を利用することができません。”Drowsy Alarm”はドライバーのモニタリングをスマートフォンのアプリで実現します。全てのドライバーの居眠り運転を防止し、交通事故を削減することを願って作られています。

リンク

ウェブサイト: <http://drowsyalarm.com/>

App Store:

<https://itunes.apple.com/WebObjects/MZStore.woa/wa/viewSoftware?id=1081250873&mt=8>